



“区の花”“市の花”“町の花” ツツジでつながる4自治体相互交流 「友好のつつじ」披露式典を開催

と き 4月25日(金)午前10時～11時 ところ 区立石神井松の風文化公園内 (石神井台1-33-44)

25日、区立石神井松の風文化公園で、「友好のつつじ」披露式典が催され、各自治体の首長によるテープカットなどが行われた。

“区の花”であるつつじの寄贈を受けるなど、練馬区と交流のある3自治体(久留米市・館林市・埴町)に友好のつつじ交流を呼びかけたところ、快く賛同を得られた。

その証として、今月1日に開園した石神井松の風文化公園内に、3自治体から寄贈されたつつじの大株を植栽し、「友好のつつじ」コーナーを設置した。

今回、これを契機として4自治体相互交流が生まれるよう、つつじの開花時期に合わせて、4自治体の首長が一堂に会した「友好のつつじ」披露式典開催の運びとなった。なお、披露式典に先立って、前日には4自治体の交流会が開かれた。



【テープカットの様子】



【友好のつつじコーナー】

【交流の経緯】

福岡県久留米市(市長：榑原 利則(ならはら としのり))

平成6年、区の平成つつじ公園(練馬1-17-6、平成6年開園)を整備するにあたり久留米市と協定を結び、多品種のつつじ、希少な大株つつじを購入した。平成18年頃、久留米市長が練馬区に来訪した際、つつじの寄贈を受けた。平成24年、「つつじ」を媒介とした自治体相互交流を象徴するコーナーを、石神井松の風文化公園に設けるため、つつじを寄贈していただくことについて賛同を得た。

群馬県館林市(市長：安楽岡 一雄(やすらおか かずお))

館林市出身の宇宙飛行士である向井千秋氏が宇宙に持参したヤマツツジの種子を育成したつつじを、「宇宙ツツジ」の名称で商標登録している。区議会からの要望を受けて、市に寄贈を依頼した。平成18年に「宇宙ツツジ」の寄贈を受け、平成つつじ公園に植栽した。平成24年「つつじ」を媒介とした自治体相互交流を象徴するコーナーを、石神井松の風文化公園に設けるため、つつじを寄贈していただくことについて賛同を得た。

福島県埴町(町長：菊池 基文(きくち もとふみ))

平成23年の照姫まつりの際、町より100年つつじの寄贈申し出があり、植樹箇所として新たに整備を予定している石神井松の風文化公園を選定した。平成24年に埴町のヤマツツジの名所、風呂山公園の植栽100周年記念行事で、区から「ねりまの鏡」を寄贈した。また、町から区へヤマツツジが贈られ、それを石神井松の風文化公園に自治体相互交流を象徴するコーナーを設けるため、植栽することについて賛同を得た。

【練馬区立石神井松の風文化公園】

友好のつつじ：約263㎡のコーナーを設け、各自治体から寄贈いただいた各2～3株を植栽している。旧日本銀行グラウンドを区が取得し整備を行い、区立公園として4月1日に開園した。

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部土木部計画課公園計画係 電話 03-5984-1365